

令和3年度 校長研修部会研究計画

1 研究主題

自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る

日本人の育成を目指す小学校教育の推進

— 郷土を愛し、他者と協働しながら豊かな未来社会を創る子どもの育成 —

2 研究主題設定の理由

本部会は、令和2年度から新たに設定された全国連合小学校長会の研究主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」のもと、その実現を目指し、真摯に研究と実践を積み重ねている。

これまでは、人間性豊かな未来社会を共に創造しようとする子どもの育成や他者と協働しながら豊かな未来社会の創造に挑む子どもの育成、そして、10年先、20年先の社会を見据えた未来の創り手を育む学校経営の推進について実践研究を進めてきたところである。その中で、確かな学力や豊かな心、健やかな体の調和のとれた教育を一層重視し、「子どもたち一人一人の可能性を引き出し、『生きる力』を育む」という一貫した理念のもと、明確な経営ビジョンを掲げ、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努めるなど校長の職務である学校経営に焦点化し、子どもの「生きる力」を育む学校の教育力を一層高め、「未来の創り手を育む学校経営の推進」に取り組んできた。

近年、新しい時代を迎え、絶え間ない技術革新やグローバル化が進展する一方で、我が国では生産年齢人口の減少や都市部への人口集中等、社会は大きく変化している。そのような中、人としての生き方が問われ、少子高齢化や人間関係の希薄化、児童虐待や子どもの貧困問題など教育環境にも関わる多岐にわたった課題も顕在化している。さらに、今回の新型コロナウイルス感染拡大による様々な問題で浮き彫りとなったように、今後も未知の問題への対応を否応なく求められる時代ともなってきた。

子どもたちがこのような時代を生き抜き、自ら豊かな人生や社会を切り拓いていくためには、社会の変化や直面する問題に主体的に向き合い乗り越える力と同時に、生まれ育った郷土を愛し、他者と協働しながら問題を解決していこうとする力が必要である。

このような状況を踏まえ、新学習指導要領が全面実施となった中での学校教育は、これまで培ってきた「一人一人の子どもを大切に作る」教育理念をもとに、他者と人権を尊重し合い、郷土を愛し、豊かな未来社会を創造する人材の育成を目指して推進していかなければならない。そこで、副主題を「郷土を愛し、他者と協働しながら豊かな未来社会を創る子どもの育成」とし、実践研究を深めることとした。

校長は、学校経営の責任者として、自らの使命を自覚し、教育の不易の部分から軸足を外すことなく、中・長期的展望にたち、新しい課題に対する十分な研究を重ねるとともに、今回の新型コロナウイルス感染拡大による様々な影響・課題に的確に対応し、子どもの学びを止めず、より実効的な成果を得るためにも「チーム学校」として組織をあげて学校経営に取り組む必要がある。今後、更に学校経営の実践研究を進め、子どもの成長した具体的な姿を通して実証・発信することにより、校長の在り方を明らかにしていきたい。

本部会では、これまでの研究成果を踏まえつつ、五つの研究班において、それぞれ二つの視点か

ら研究に取り組む。これらを通して研究主題・副主題に沿った研究と実践が一層深まることを期待する。

3 研究内容とそのとらえ方

本部会では、すべての研究分野に人権教育・特別支援教育の視点を基盤に据え、実践・研究を深めるものとしている。

第1研究班 学校経営

＜研究課題＞ 新たな教育の方向性を見据えた経営ビジョンを示し、活気ある学校組織と経営体制を築いて教職員をリードする校長の在り方

＜趣 旨＞

多様な価値観や個性が尊重され、高度情報化、技術革新や科学が飛躍的に進展する将来を予測することは難しい。しかし、社会がどのように変化しても、多様な人々とのつながりを保ちながら自らの人生を切り拓き、新たな価値を生み出し、持続可能な社会を創造していくことのできる子どもを育てることは学校の責務である。学校は、自らの責任において、未来社会の創り手となる子どもたちの望ましい姿を思い描き、その育成に向け、主体的・創造的な経営を継続していかなければならない。そのため、校長は、確固たる教育理念をもち、新学習指導要領の趣旨を生かした先見性のある経営ビジョンを内外に明確に示さなければならない。

また、校長は、学校教育の充実を図るため教職員一人一人に自覚と意欲をもたせ、活気ある学校組織と経営体制の確立・運営に強いリーダーシップを発揮する必要がある。

＜研究の視点＞ (1) 経営ビジョンを明確にした主体的・創造的な学校経営
(2) 学校教育の充実を図るための学校組織づくりと学校経営

第2研究班 教育課程

＜研究課題＞ 新学習指導要領全面実施の中で、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善をリードする校長の在り方

＜趣 旨＞

新学習指導要領の理念の一つに、「社会に開かれた教育課程」がある。これは、子どもたちが郷土を愛し、豊かな人間性をはじめ、他者と協働しながら未来社会をともに創りあげていくために求められる資質・能力を確実に育むことのできる学校教育の実現を目指すものである。教科・科目等の新設や目標・内容の見直し、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善、学習評価の充実等、様々な分野での充実・改善が求められる中、コロナ禍によって制限のある中でも創意ある教育課程を編成・実施しなければならない。

また、コロナ禍の今だからこそ、学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的資源の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質の向上、学習効果の最大化につながるカリキュラム・マネジメントを確立・推進していかなければならない。そのため、校長は、学校や地域の実態を踏まえながら将来を見据えた創意ある教育の展望と計画を明確にもち、継続的かつ発展的なマネジメントに取り組む必要がある。

＜研究の視点＞ (1) 郷土を愛し、豊かな人間性や他者と協働しながら生きる力を育む学校教育の推進
(2) 新学習指導要領全面実施の中での創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善

第3研究班 指導・育成

＜研究課題＞ これからの学校を担う人材育成をリードする校長の在り方

＜趣 旨＞

この先10年間での大きな変化に対応しつつ未来社会の創り手を育むためには、学校の教育力の一層の向上と充実が不可欠である。そのため、校長は、個々の教職員の特性と力量を見極めたうえで、個々のスキルアップに向けた取組を支援し、学級経営や教科等の経営などのマネジメント力、危機管理能力や保護者等への対応力といった資質・能力の向上に努めなければならない。

また、学校の教育目標の具現化に向けて組織が効果的に機能し、学校の教育力を発揮するためには、ミドルリーダーの存在が不可欠である。また、教職員の急激な世代交代が進行する中、増加する若手教員の育成は喫緊の課題である。このような視点からも、校長は教職員一人一人の特性やよさを把握し、優れた指導力や職務遂行能力、使命感や学校経営への参画意識など、必要とされる資質を備えた人材を意図的・計画的に育成する必要がある。

- ＜研究の視点＞ (1) 教職員の資質・能力を高め、学校の教育力を向上させる研究・研修の推進
(2) 次代の学校教育を担う若手教員とミドルリーダーの育成

第4研究班 危機管理

＜研究課題＞ 危機管理の視点に立った安全・安心な学校づくりをリードする校長の在り方

＜趣 旨＞

安全・安心な環境なくして教育は成り立たない。しかし、近年脅威を増す自然災害、交通事故や子どもが狙われる事件など、子どもたちの安全・安心を脅かす状況は深刻である。そのような中、子どもたちに、予想しない事態に直面しても自ら判断・行動するとともに、事前に危険を予測し回避する力を養うことが求められている。そのため、校長は、組織的・計画的に教育活動全般を通じた安全教育、防災・減災教育を展開していかなければならない。

これら安全に関する教育とともに、いじめや事件・事故等様々な危機への対応と未然防止、発生時の迅速かつ的確な対応及び今回の新型コロナウイルス感染拡大による様々な問題への対応など、教職員の高い危機管理能力に基づく危機管理体制の確立が求められている。そのため、校長は、教職員一人一人の危機管理意識を高め、教職員の組織的な取組はもとより、家庭・地域・関係機関との連携・協力により、未来社会の創り手となる子どもを守る体制づくりを推進する必要がある。

- ＜研究の視点＞ (1) 子どもの命を守る安全教育、防災・減災教育の推進
(2) 様々な危機への対応と未然防止の体制づくり、リスクマネジメントの推進

第5研究班 教育課題

＜研究課題＞ 喫緊の教育課題の解決に向けた取組をリードする校長の在り方

＜趣 旨＞

激しく変化する現代社会においては、学校を取り巻く課題についても多様化、複雑化しており、学校と地域はパートナーとして、より一層連携・協働することが期待されている。校長は、開かれた学校から更に一步踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有するなど、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への転換を図り、社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進や課題解決に向けた取組を強化していかなければならない。

また、合理的配慮を重視した特別支援教育や実践的な行動力を育む人権・同和教育の推進、自らの生き方に目を向けたキャリア教育の充実など、全ての子どもたちが希望をもって生涯を過ごすことができるよう、その自立と共生、社会参加を目指し、切れ目ない支援を行える体制の整備が、今、求められている。

それらに加え、学校現場では様々な喫緊の教育課題が山積しており、学校教育をリードする校長は、子ども一人一人が可能性を発揮し幸福な未来社会の創り手となるよう、将来を見据えた「生きる力」を育む教育の実現に取り組む必要がある。

- ＜研究の視点＞ (1) 豊かな未来社会の実現に貢献する力を育む教育活動の推進
(2) 子どもの発達を支援し、「自立・共生」社会の実現に向けた教育活動の推進

4 研究 方 法

第74回徳島県小学校長会総会並びに研修会	令和3年4月27日
第73回全国連合小学校長研究協議会石川大会	令和3年10月14日・15日
第62回徳島県小学校長研究協議会	令和3年12月1日